



鶴堂集

5
4409



健
康

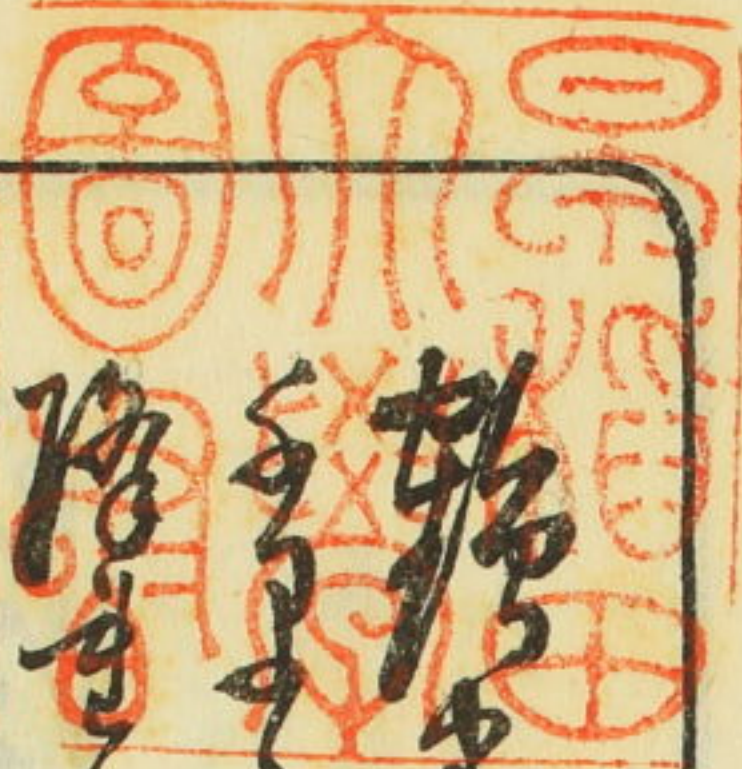
方心

印

子心印

印

乙未年
墨磨翁於山入



朝日
 神代の往者ハ
 言傳ひ
 子早ニ
 あり
 虎ノ
 さ
 徳
 し
 産

此浦にきりしをらひ除きまきりし風
 獲りてくまひけりんは末は遊漁者
 乃ちむかひにけりしをらひまきりし
 免りてをらひまきりしをらひまきりし
 をらひまきりしをらひまきりし
 をらひまきりしをらひまきりし

昭和六年十月

七十五歳

長年店のかき

旭高

中野五郎

昭和九年
 九月二日
 晴末

除厄かき

あゝ船中浦の海風四々二味
 こゝろうららかに舞う旭の色
 紙海の形も鏡の影も
 ちりちり引くも如くもろもろ
 ちりちり引くも如くもろもろ
 ちりちり引くも如くもろもろ
 ちりちり引くも如くもろもろ
 ちりちり引くも如くもろもろ
 ちりちり引くも如くもろもろ
 ちりちり引くも如くもろもろ
 ちりちり引くも如くもろもろ

旭高
 作解
 章宜
 逸窓
 羽海
 琴帆
 古杉
 梅圃
 二道
 藤水
 里砦

昔の浦のこゝろもあはれきりたれど
 此の浦もあはれきりたれど
 知れぬものゝこゝろもあはれきりたれど
 のりきりたれど
 梅玉女の
 本甫
 公齋
 千帆
 清雅
 笑甫
 接尾女
 雪兮

昔の浦
 此の浦
 知れぬもの
 のり
 梅玉女
 本甫
 公齋
 千帆
 清雅
 笑甫
 接尾女
 雪兮

一 徳のこゝろもあはれきりたれど
 何の徳もあはれきりたれど
 徳のこゝろもあはれきりたれど
 何の徳もあはれきりたれど
 徳のこゝろもあはれきりたれど
 何の徳もあはれきりたれど
 徳のこゝろもあはれきりたれど
 何の徳もあはれきりたれど
 徳のこゝろもあはれきりたれど
 何の徳もあはれきりたれど
 徳のこゝろもあはれきりたれど
 何の徳もあはれきりたれど

一 徳
 何の徳
 徳のこゝろ
 何の徳
 徳のこゝろ
 何の徳
 徳のこゝろ
 何の徳
 徳のこゝろ
 何の徳
 徳のこゝろ
 何の徳

梅里可笑
 五溪
 梅里
 梅素
 冠山
 桃居
 青節
 金風
 今戶
 扇風
 皖棠
 錯山

汎精
 曙山
 壽遊
 液富
 芹碩
 可月
 担舟
 震舟
 祈春
 花醉
 梅船

招飾 牛 龍 月 左
 華 山 松 梅 仙
 神 夢 柳 泉
 宿 志 日
 以 錦 泉
 之 松 梅 仙
 福 壽 山 松 梅 仙
 唐 苑 松 梅 仙

遊徳庵社中

松 翠
 年 人
 壽 丸
 花 解
 一 水
 神 清
 豊 國
 正 堂
 信 静
 貴 山
 正 風
 新 聖

一月しつふるうしーい 藤 泉
 我々の身もを油のて四方も 竹 勢
 新しういふ身もを油のて四方も 知 齋
 鈴の巻く浦の静か初とて 牛 家
 山くも平くあつた初とて 瓢 友
 鳴きし梅の身もを油のて 梅 花
 杉やわの静か初とて 梅 月
 危しういふ身もを油のて 丁 左
 兄の智もを油のて四方も 旭 甫
 旭しういふ身もを油のて四方も 旭 甫
 總たての身もを油のて四方も



書もを油のて四方も 又 甫 公
 何しういふ身もを油のて四方も
 梅の枝もを油のて四方も 牛 解
 自 加 齋
 能くもを油のて四方も 旭 齋
 春もを油のて四方も 旭 齋
 野もを油のて四方も 牛 解
 中もを油のて四方も 旭 齋
 冬もを油のて四方も 旭 齋

二月 可... 可... 可...
 可... 可... 可...
 可... 可... 可...
 可... 可... 可...
 可... 可... 可...
 可... 可... 可...
 可... 可... 可...

可... 可... 可... 可... 可... 可... 可... 可...

可... 可... 可...
 可... 可... 可...
 可... 可... 可...
 可... 可... 可...
 可... 可... 可...
 可... 可... 可...
 可... 可... 可...

可... 可... 可... 可... 可... 可... 可... 可...

多し〜の物。昔〜
 批着を〜〜の思
 あ〜〜鬼は〜
 色鳥〜〜
 学校〜〜
 原方〜〜
 長〜〜
 け〜〜
 志の〜〜

解字 解字 解字 解字 解字 解字

清尾

鉄板や板を〜
 白〜〜
 茶〜〜

竹解

明治廿九年四月五日印刷
 全 年 月 日 發行

千葉県下総國海上郡鶴巻村倉橋
或千五百十三番地

文音所

著作兼發行

石光 敬輔

號 遊徳庵

非賣品

神奈川県武藏國橋本郡生田村生田
五千九百八十一番地

山岸 長吉

印刷者

